

事業名 はじめての和太鼓体験

[主催]	国立阿蘇青少年交流の家
[後援]	熊本県教育委員会 阿蘇市教育委員会、日本太鼓財団熊本県支部
[期日]	令和5年11月25日(土)～11月26日(日)【1泊2日】
[活動場所]	国立阿蘇青少年交流の家
[参加者]	小学3年生・4年生 22名
[講師]	・夢源(2名) ・南阿蘇太鼓(6名)
[担当職員]	3名
[ボランティア]	3名

1 趣旨

日本の伝統文化である「和太鼓」を体験することで、和太鼓に親しむとともに、共に奏でることの喜びや、2日間の成果を発表することで達成感を味わう。

2 目標

- (1) 参加者8割が、楽しく活動できたと感じることができる。
- (2) 参加者8割が、仲間と演奏することへの喜びを感じることができる。

3 事業展開

- (1) 研修プログラム

	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:30	14:00	15:00	16:30	17:00	17:30	19:00	20:00	21:00	22:00
11月25日(土)								オープニング	和太鼓体験		オリエンテーション	夕べのつどい	夕食		和太鼓体験	入浴	就寝

	6:30	7:15	7:30	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	14:30	15:00	15:30
11月26日(日)	起床	朝のつどい	朝食		和太鼓体験		昼食	最終リハーサル	成果発表	ふりかえり	クロージング	解散

(2) 活動の様子



【オープニングセレモニー】



【和太鼓練習】



【和太鼓練習】



【成果発表】

4 評価、成果と課題

(1) 評価

①参加者の満足度

設 問	項目	満足	やや満足	やや不満	不満
太鼓の体験は楽しかったですか。	回答数(人)	19	3	0	0
	割合(%)	86.4	13.6	0	0
設 問	項目	そう思う	どちらかという と、そう思 う	どちらかとい うと、そう思 わない	思わない
また友だちと一緒に太鼓を演奏してみたいと思いますか。	回答数(人)	19	2	0	1
	割合(%)	86.4	9.1	0	4.5

②参加者の声

- ・ 「まめができるぐらい一生懸命にやって楽しかった」
- ・ 「お友だちができて楽しかった。はじめて太鼓を打ち、楽しかった」
- ・ 「太鼓をたたくといい気持ちになれる」
- ・ 「せっかくできた友だちと、また演奏したい」

(2) 成果

○ 「達成感を味わう」という事業趣旨の背景には、昨年度までの新型コロナウイルスによる、青少年の成果発表の機会の減少を鑑みて、達成感を味わってほしいと願い企画した。そして、成果発表会では、これまで和太鼓を習ったことがない小学3・4年生が1曲約4分もの演奏を2曲披露し、達成感を味わう機会を創出することができた。

- 参加者の中には、親元を離れて宿泊する体験の機会が少ない参加者もあり、和太鼓体験だけでなく、宿泊体験としても参加者に自信をつける機会となった。また、自分の子どもが一人で宿泊することを心配していた保護者からは「1日目と2日目で明らかに違う姿を見ることができました」と評価をいただき、子どもたちだけでなく、保護者も自分の子どもに対する自信をつける機会となった。
- 今回、講師を2団体依頼し、全体指導と補助指導とに分けて参加者への指導を行った。指導補助の南阿蘇太鼓には、中学生と高校生に参加していただいた。参加者の年齢に近いロールモデルとして、太鼓の技術習得の促進だけでなく、異学年交流としての機会も創出することができた。
- 当施設において、小学3・4年生を対象とした事業は少なく、法人ボランティアの学生からも「どこまで手助けするか、どこまで自由にさせるかなど自分なりの線引きができた」との感想があり、学生にとっても参加者との関わりが良い経験となった。
- 当施設において、和太鼓体験を中心とした事業は初の試みであり、また、当機構においても極めて事例が少なく、今回の事業が今後の教育事業の参考事例となった。

(3) 課題

- 参加者から「21時まで練習するのは大変だった」と回答があり、対象年齢に対して活動時間を考慮する必要がある。
- 今回、和太鼓体験の事業は当施設初の試みであり、応募数がどの程度集まるか、予想ができなかった。そのため、申込から随時先着順として、申し込みを受け付けた。その結果、申込開始日からわずか、2日で募集定員に達してしまった。本事業は「地域ぐるみで『体験の風をおこそう』運動推進事業」であり、体験活動を普及啓発するという視点においては、申込参加者の地域性等を考慮することができなかった。今後は、先着順ではなく、定員を超えた時は抽選等で各地域から申込者を募る工夫が必要である。